


## 平成26年度 消防本部 経営計画書

職・氏名	経営方針		経営資源			
消防長 岡崎 政人	<p><b>●使命</b> 火災・救急救助等の災害に対し、被害を最小限にとどめるため迅速的確に対応し、市民の大切な身体・生命・財産を守ります。</p> <p>また、消防署、消防団、自主防災組織、市民が共に協力し、地域の防火防災に取り組める様、「自助・共助・公助」の地域防災力の連携強化に努めます。</p> <p><b>●基本方針</b> ①防災意識の高いまちを目指して、災害適応能力の高い隊員の育成と各隊の連携強化を図ります。 ②防災意識の高いまちを目指して、住宅防火対策の充実と事業所の防火・防災管理体制の充実・強化を図ります。 ③質の高い医療が受けられるまちを目指して、救急業務の高度化と救命率の向上を図ります。 ④防災意識の高いまちを目指して、地域防災力の連携強化と消防施設資器材の整備を図ります。</p>		所管課	総務課・予防課・警防課・消防署		
			人 員	正職員	臨時職員	合計
				69人	0人	69人
			一般会計	627,879 千円		
			特別会計	— 千円		
			計	627,879 千円		
	(うち正職員人件費)	(500,450 千円)				
重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	<p>消防活動対策 ・現場活動能力の向上</p> <p>・資機材の整備 【消防署・警防課】</p>	<p>火災をはじめ、地震、局地的な豪雨、その他の災害に迅速的確に対応するため、隊員の現場活動能力向上と各隊の連携強化を図ります。</p> <p>消防車両や高度救命資機材の整備に努めます。</p> <p>また、挿管認定救命士の継続養成をします。</p>	<p>リスクの高い施設、消火困難建築物など、現地でより実践的な合同訓練などを実施する。</p> <p>年6回以上 梯子車オーバーホール、除細動器、ビデオ硬性喉頭鏡の整備</p> <p>ビデオ硬性喉頭鏡認定救命士 4名→8名</p>	<p>2回実施済(大和紙器合同消防訓練、防災訓練)。残り4件についても計画中です。(実施率33%)</p> <p>梯子車オーバーホールは整備中、救急資器材は整備済みです。</p> <p>4名養成中(講習→修了3名。実習→修了0名。11月までに修了予定。)</p>	<p>5回実施済、残り1件は、3月8日林野火災合同消防訓練を実施する予定。(実施率83%)</p> <p>梯子車オーバーホールは整備済み、救急資器材は整備済みです。</p> <p>4名養成修了→8名 (講習→4名。実習→4名。)</p>	<p>6回実施済(実施率100%)</p> <p>梯子車オーバーホール、救急資器材は整備完了</p> <p>ビデオ硬性喉頭鏡認定救命士養成修了</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>火災予防対策 ・住宅防火対策</p> <p>住宅火災の軽減のため、高齢者一人暮らし宅を防火訪問し、防火・防災意識の向上を図ります。</p> <p>住宅火災の早期発見・被害軽減のため、住宅用火災警報器未設置宅の継続訪問指導を行い、設置率の向上を図ります。</p> <p>事業所の防災力の強化 【予防課】</p> <p>事業所の火災予防のため、査察計画により立入検査を行い、事業所の防火・防災意識を高め、防火管理体制の向上を図ります。今年度は、高圧ガス施設を重点的に実施します。</p>	<p>防火訪問件数 800世帯</p> <p>住警器設置率 82% (H25 79%→82%)</p> <p>住警器設置世帯 300世帯増</p> <p>立入検査件数</p> <p>事業所 200施設 危険物施設 70施設 高圧ガス 50施設</p>	<p>319世帯訪問 (実施率40%)</p> <p>設置率 77%</p> <p>設置世帯 225世帯増 (達成率75%)</p> <p>立入検査件数</p> <p>事業所 102施設 (実施率51%) 危険物施設48施設 (実施率69%) 高圧ガス 12施設 (実施率24%)</p>	<p>542世帯訪問 (実施率68%)</p> <p>設置率 78%</p> <p>設置世帯 346世帯増 (達成率115%)</p> <p>立入検査件数</p> <p>事業所 154施設 (実施率77%) 危険物施設81施設 (実施率116%) 高圧ガス 16施設 (実施率32%)</p>	<p>805世帯訪問 (実施率101%)</p> <p>設置率 78%</p> <p>設置世帯 390世帯増 (達成率130%)</p> <p>立入検査件数</p> <p>事業所 258施設 (実施率129%) 危険物施設82施設 (実施率117%) 高圧ガス 27施設 (実施率54%)</p>
3	<p>救急・救助対策 ・市民への応急手当の普及啓発</p> <p>救急車が到着するまでに応急手当ができる市民を増やし救命率を向上させるため、普通救命講習受講の普及推進を図ります。</p> <p>・集団事故対応能力の向上 【警防課・消防署】</p> <p>バス事故等の集団事故に対応するため隊員の能力向上と関係機関との連携強化に努めます。</p>	<p>普通救命講習受講者目標数：年間400人（うち、中学生・高校生受講目標数：40人）</p> <p>救出救助訓練 月1回以上</p> <p>特殊災害訓練 年2回以上</p>	<p>受講者101人（うち、中・高生4人） 達成率25.3%</p> <p>6回実施済（車両、水難、火災等）等50%</p> <p>特殊災害計画中（高圧ガス、危険物等）</p>	<p>受講者151人（うち、中・高生11人） 達成率37.8%</p> <p>救出救助訓練10回実施済（車両、水難、火災、多重事故等）実施率83%</p> <p>特殊災害、2/26・3/9集団事故・高圧ガス災害対応実施予定、実施率0%</p>	<p>受講者292人（うち、中・高生20人） 達成率73.0%</p> <p>救出救助訓練12回以上実施済（実施率100%）</p> <p>特殊災害訓練2回実施済（実施率100%）</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員の確保</li> <li>・消防団の施設 資器材の整備</li> <li>・消防団が行う 各種指導能力 の向上</li> </ul> <p>【総務課】</p>	<p>消防団員の人員について、継続して定数の確保に努めます。</p> <p>消防団施設の老朽化に伴い、施設及び資器材の整備を図ります。</p> <p>自治会又は地区の自主防災訓練等の実施に際し、消防団組織を中核として指導を行えるよう、消防団員の教育に努めます。</p>	<p>4月1日現在</p> <p>団員実員479人</p> <p>団員定数539人を確保</p> <p>邑久西分団機庫を新築し、資器材を整備します。</p> <p>消防団のための防災研修会を開催します。</p>	<p>9月末現在</p> <p>団員実員480人</p> <p>入団4人、退団3人</p> <p>分団機庫進捗率30%</p> <p>防災研修会を12月14日(日)に実施します。</p>	<p>1月末現在</p> <p>団員実員473人</p> <p>入団15人、退団22人</p> <p>分団機庫12月完成</p> <p>防災研修会開催済</p> <p>消防団受講55人</p> <p>消防署受講20人</p>	<p>3月末現在</p> <p>団員実員474人</p> <p>入団2人、退団1人</p> <p>分団機庫12月完成</p> <p>防災研修会開催済</p> <p>消防団受講55人</p> <p>消防署受講20人</p>